

## 朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 13 編 21-30 節 (新約聖書 195 頁)

21 イエスはこう話し終わると、心を騒がせ、断言された。「はっきり言うておく。あなたがたのうち一人がわたしを裏切ろうとしている。」22 弟子たちは、だれについて言うておられるのか察しかねて、顔を見合わせた。23 イエスのすぐ隣には、弟子たちの一人で、イエスの愛しておられた者が食事の席に着いていた。24 シモン・ペトロはこの弟子に、だれについて言うておられるのかと尋ねるように合図した。25 その弟子が、イエスの胸もとに寄りかかったまま、「主よ、それはだれのことですか」と言うと、26 イエスは、「わたしがパン切れを浸して与えるのがその人だ」と答えられた。それから、パン切れを浸して取り、イスカリオテのシモンの子ユダにお与えになった。27 ユダがパン切れを受け取ると、サタンが彼の中に入った。そこでイエスは、「しようとしていることを、今すぐ、しなさい」と彼に言われた。28 座に着いていた者はだれも、なぜユダにこう言われたのか分からなかった。29 ある者は、ユダが金入れを預かっていたので、「祭りに必要な物を買いなさい」とか、貧しい人に何か施すようにと、イエスが言われたのだと思っていた。30 ユダはパン切れを受け取ると、すぐ出て行った。夜であった。

## ダ・ヴィンチの最後の晩餐

人間が描いた最古の絵の一つは、1万8千年前、フランス南部のラスコーの洞窟壁画です。それは人間が文字を使うより何千年も前のことです。その後中世の初期から聖人や聖書の出来事などがイコンと呼ばれる平面の画像に描かれ、さらに教会や修道院の礼拝堂にはステンドグラスが作られました。こうして文字や言葉ではなく、図や絵の象徴や画像は人々の心を癒やし、励ましてきました。

最後の晩餐で、イエスは弟子の一人が裏切ると断言しました。すると「弟子たちは、だれについて言うておられるのか察しかねて、顔を見合わせた。」とあります。ルネサンスの芸術家レオナルド・ダ

・ヴィンチは、その瞬間をイタリアの修道院に壁画として描いたの  
でした。

中央にイエスがいて、左右の12人の弟子がイエスの言葉に驚き、  
どよめいているのがわかります。一番右側の弟子は椅子から立ち上  
がり、一方、反対側の左奥の三人を見ると、二人は一番奥にいる弟  
子に何かを尋ねています。さらにイエスのすぐ左の三人を見ると一  
人は指を立てて怒っているのか、手を広げたり、どうしてと首をか  
しげたりしています。

そしてイエスのすぐ右側の三人を見て下さい。すぐ右側にいるの  
がヨハネです。そのヨハネに誰のことを言っているのか尋ねるよう  
にと耳元に近寄っているのがペトロです。最後に、ペトロと交差す  
るようにのけぞってイエスを見上げているのが裏切ったユダです。  
その右の手には銀貨の入った袋が握られています。

イエスの言葉に動揺する弟子たちの姿は驚き、疑い、不安になる  
わたしたちのありのままの姿を写しているようです。イエスが頭を  
垂れて一人斜め下を見つめている姿は誰からも理解されないイエス  
の孤独をあらわしているようです。しかし、それにもかかわらず手  
を広げているイエスの姿は黙って弟子たちを受け止めて、愛してお  
られることをあらわしているのではないのでしょうか。

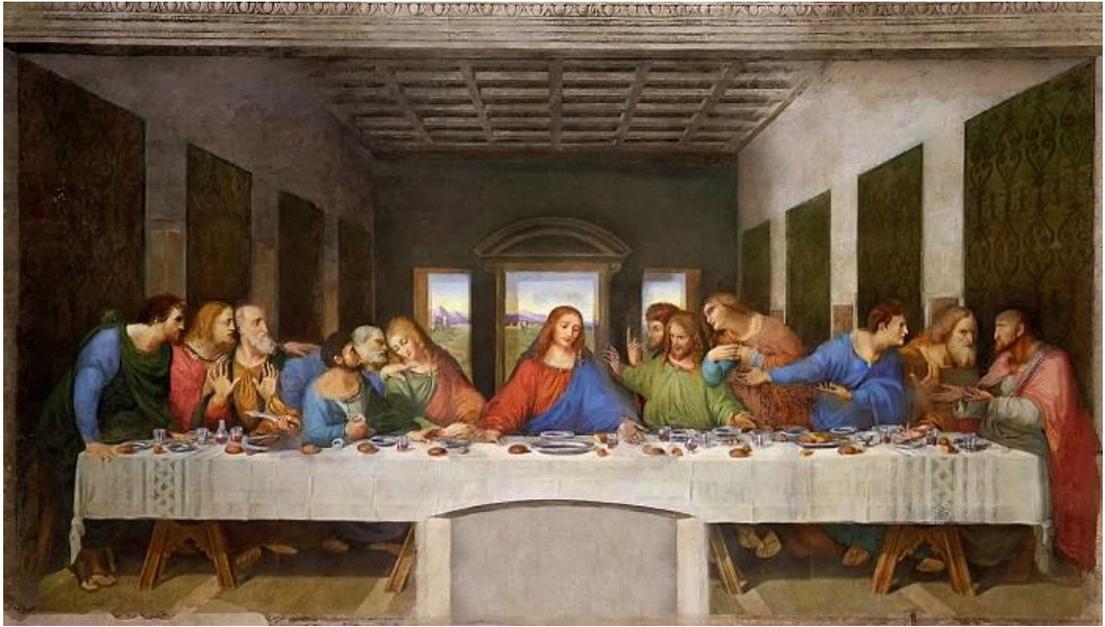
祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、わたしたちを励まされる主よ。

あなたはダ・ヴィンチの「最後の晩餐」の壁画を通して、あなた  
の言葉に動揺する弟子たちを受け止め愛するイエスの姿を残して下  
さいました。どうか、今日一日もすべてをあなたに委ね、御心に適  
う道を歩ませて下さい。

今、様々な理由によって就学、就労の困難な生徒、教職員のため  
に祈ります。どうか主の慈愛を悟り、主の御前で共に感謝を献げる  
日をひと時でも早くお与え下さい。

主イエス・キリストの御名によってお願いいたします。アーメン



レオナルド・ダ・ヴィンチ『最後の晩餐』 1495-1498年  
サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院（ミラノ、イタリア）